

## シバ新品種「つくば太郎」の育成

### [要約]

ノシバ「つくば太郎」は、つくば市の芝生産地の在来種から紅葉程度が遅い変異系統を平成 2 年に採取し、特に生育が旺盛で緑化期間が長い系統を選抜したもので、生育旺盛で耐陰性に優れ、都市緑化等広範囲での利用が可能である。

農業総合センター園芸研究所

成果  
区分

普及（普及）

### 1. 背景・ねらい

約4、200haの生産面積を持ち、全国一のシバ生産県である本県生産者からの優良品種育成の要望が高いため、強健で再生力が高く、緑化期間が長い、優良系統の選抜を行う。

### 2. 成果の内容・特徴（育成経過・品種特性）

#### 1) 育成経過

平成 2年	つくば市のノシバ在来種から変異系統を採取し、系統分け（40系統）
平成 3年～	緑化期間、草勢から優良系統（12系統）を選抜。
平成 5年～	再生力から優良系統（2系統）を選抜。
平成 7年	特性を確認。
平成13年	優良系統（2系統）について耐湿性、ラージパッチ耐病性から選抜。
平成14年	優良系統（2系統）について耐陰性、耐踏圧性から選抜。育成完了。

#### 2) 特長

- (1) 紅葉の時期がやや遅く、緑化期間が長い。
- (2) 極めて生育旺盛で、しっかりしたマットができる。
- (3) 日陰でもよく生育するので、ビル間などの都市緑化に適する。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 主な用途：都市緑化、中央分離帯、道路法面などの公共緑化、ゴルフ場
- 2) 種苗増殖・供給体制は未確立（2月20日現在）。

#### 4. 具体的データ

表1 シバ新品種の対照品種との特性比較

形質	品種 つくば太郎	メイヤー (対照品種)	エメラルド (対照品種)
草型	ややほふく性	ややほふく性	ほふく性
ほふく茎の密度	—	やや疎	密
ほふく茎の太さ	やや太い	中	細い
葉長	かなり長い	やや長い	短い
葉幅	かなり広い	広い	やや狭い
葉色	かなり濃い	濃い	中
初期生育	良	良	中
春の草勢	中	中	やや不良
秋の草勢	良	良	やや良
春秋の出穂の有無	—	春のみ出穂	春のみ出穂
再生の良否	やや良い	中	やや良い
緑化の早晩	やや早い	中	やや早い
紅葉の早晩	中	やや早い	中
耐陰性	強い	中	中
耐干性	—	強い	やや強い
耐踏圧性	中	中	やや強い
ラージブラウン パッチ抵抗性	やや強い	中	強い

いずれも対照品種に対する相対評価      —：未調査



図1 「つくば太郎」の形態的特性

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

新品種育成普及促進事業・平成13～17年度・花き研究室